

事業番号	08 04 31	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	家畜衛生対策事業費			担当課	農政部	
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			課・室	園芸畜産課	
	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産 4-2 県民生活の安全確保 4 食品・医薬品等の安全確保			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	S26 ~	

1 事業の概要

目指す姿	家畜伝染性疾病に対する危機管理体制を強化するとともに、慢性疾病等のコントロールによる生産性向上及び動物用医薬品の適正使用等により、低コストで安全性を確保した畜産物を安定的に生産できる体制を維持する。		
現状	<input type="checkbox"/> 国際化の進展により、海外からの悪性伝染病の侵入リスクが高まっている。 <input type="checkbox"/> 高品質・低コストな畜産物が求められている。 <input type="checkbox"/> 新しい家畜疾病の発現や飼育環境の悪化等による慢性疾病が散発されている。		
県が関与する理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	【左記の説明、根拠法令等】 家畜伝染病予防法、薬事法等に基づき実施	

事業内容	① 成果目標(H24)				
	家畜伝染病まん延防止対策を徹底するため、防疫演習を実施するとともに、畜産農家データベースを更新し最新情報を集積する。慢性疾病等の疾病調査等を継続的に実施する。 動物用医薬品の適正使用の徹底とともに、表示事項等の確認検査のために、店舗巡回を実施する。 ・防疫演習の実施 1回 ・動物由来感染症調査 299検体 ・家畜衛生情報収集 200件 ・動物用医薬品表示事項検査 80店舗 ・畜産農家データベースの整備 1,248戸				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H24事業実績		
					H24 (当初)
					H24 (決算)
					H25 (当初)
	家畜衛生対策事業	直接	慢性疾病の低減等による家畜の生産性向上、動物用医薬品の適正使用の指導、家畜伝染病防疫演習の実施		22,264
					22,256
					22,807
			合計		22,264
					22,256
					22,807

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越				
	当初予算	23,468	24,611	22,264	22,807
	補正予算		2,482		
	合計(A)	23,468	27,093	22,264	22,807
	国庫支出金	11,067	14,119	10,593	10,771
	県債				
	その他(使用料及び)	2,668	3,288	3,226	8,265
	一般財源	9,733	9,686	8,445	3,771
	決算額(B)	23,458	27,052	22,256	
概算職員数(人)	18.00	18.00	18.00	18.00	
概算人件費(C)	149,706	148,644	148,644	148,644	
概算事業費(B(A)+C)	173,164	175,696	170,900	171,451	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25 目標
		目標	成果	達成状況	
防疫演習の実施	4回	1回	2回	達成	1回
動物由来感染症調査	548検体	299検体	335検体	達成	310検体
家畜衛生情報収集	200件	200件	153件	未達成	200件
動物用医薬品表示事項検査	102店舗	80店舗	78店舗	未達成	80店舗
畜産農家データベースの整備	1,046戸	1,248戸	1,313戸	達成	1,240戸

目標に対する成果の状況	スマートフォンを活用した防疫演習を実施し、農場から迅速に情報を発信する訓練をするとともに、万一の発生に備えて畜産農家データベースの更新を行った。 動物由来感染症においては、大腸菌O157の検査を実施し、農場レベルで食中毒菌の低減に努めた。 家畜疾病の発生が減少し、収集する情報が少なかったために達成状況が未達成となったが、情報収集については、民間獣医師との連携等強化を行っている。 動物用医薬品の取扱い廃止により、対象立入店舗数が減少したため達成状況が未達成となったが、動物用医薬品の適切な取扱いのための指導を継続していく。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 防疫演習を実施するとともに、畜産農家データベースを更新し万一家畜伝染病の発生に備える。 動物由来感染症の調査を継続し、食の安全に寄与する。
---------------------	---